

第8回岡崎市地域ケア推進会議・生活支援体制整備協議体 議事録

日 時 平成30年12月10日（月）午後2時00分～午後4時00分
場 所 岡崎市福祉会館3階301号室
出席委員 柏原会長、小出副会長、高辻委員、山口委員、鈴木委員、大島委員、入江委員、
鷺山委員、三矢委員、佐野委員、森内委員、柿本委員 以上12名
欠席委員 太田委員、伊藤委員、柴田委員
事務局 福祉部：内田福祉部長
長寿課：中川課長、中根副課長、岡本係長、木下係長、近藤係長、遠山保健師
主任、早川保健師主任、浅見主事
介護保険課：野澤課長
オブザーバー：岡崎市社会福祉協議会 山本保健師、水野社会福祉士
傍聴人 なし

- 1 開 会
- 2 議 事 【 公 開 】
 - 1 副会長の選出
 - 2 報告事項
 - (1)地域ケア会議について
 - (2)包括ゼミについて
 - 3 協議事項
 - 憩っ家について

議事録（要旨）

事務局 議事1 副会長の選出について説明

会長 事務局から説明のありましたとおり副会長を委員の互選により定めたいと思います。皆様の中から推薦をお願いいたします。

鈴木委員 小出委員を推薦いたします。

会長 鈴木委員から小出委員への推薦がありましたが、異議がある方はいますか。いないようですので副会長を小出委員にお願いしたいと思います。ご承認を頂ける方は拍手をお願いします。賛成多数により承認いたしました。

事務局 議事2 報告事項(1)地域ケア会議について説明

会長 現在挙がっている問題は、よく聞くような問題から岡崎独自の問題と思われるようなものまで様々だと思えますが、問題を解決する手段をみつけるため

に何かご意見はありますでしょうか？

三矢委員 問題を解決するための議論は、まずは小学校区単位や町単位といったなるべく現場に近いところで起こした方が良く、そのようなところで議論を起こすための方法について話し合っただけではいかがでしょうか。

会長 ありがとうございます、まず現状として問題が把握できているという点はいいことだと考えられるのではないのでしょうか。他に質問はありますか。

小出副会長 小学校圏域での地域ケア会議というのは岡崎市全域で行われているのでしょうか。

事務局 十分に実施できている地域と、まだ不十分な地域があります。

小出副会長 第2層の地域ケア会議の立ち上がりを進めていくのと同時に、第2層の地域ケア会議にて地域課題の解決に向けての話し合いを進めていただくのはいかがでしょうか。

事務局 第2層の地域ケア会議にて話合われている地域課題は、コミュニティケア会議において専門職が話合った際に出てくるような地域課題ではなく、会議に参加する地域住民が抱える地域課題が主となっています。これは第2層の地域ケア会議はまだ始まって間もないところも多いため、大きな地域課題に取り組んでも解決が難しく、まずは身近な地域課題について取り組んでいるというのが現状になります。

小出副会長 抽出された地域課題を内容によって第1層で検討するべきなのか、第2層で検討するべきなのかを誰かが仕分ける必要があるのではないのでしょうか。

入江委員 私も参加する第2層の地域ケア会議を具体的に紹介します。3年ぐらい前から医療福祉連絡協議会を立ち上げ、地域包括支援センターやここにいる三矢委員がコーディネーターを務め、総代会、民生委員や学区福祉委員が参加しており、毎月一回行っています。

会長 ありがとうございます。今後、コミュニティケア会議で抽出された地域課題を第2層の地域ケア会議につなげていく仕組みの整備が必要ではないかと思います。また住民の方々と専門職が課題の共有を図ることも必要かもしれません。

岡崎市内の第2層の地域ケア会議の現状はどうなのでしょう。

事務局 岡崎市では学区福祉委員があり、学区福祉委員に民生委員や総代会が参加、

連携をすることで第2層の地域ケア会議となる場合もありますが、現状として入江委員のおっしゃったように学区福祉委員とは別に医療機関、民生委員、総代会が参加をする協議体ができ、そのような協議体で成果を出しているところも多くなっています。

また、町単位で会議を実施した方がいいのか、小学校区単位で会議を実施した方がいいのかは地域によって様々で、会議に参加するメンバーについても同様であり、市が一律で決めてはいません。

三矢委員 同じ小学校区内の町であっても、それぞれの町によって高齢化率も異なっているため、課題を解決するために最も動きやすい会議の単位ということで、町単位での会議や、集合住宅単位での会議も必要なのではないでしょうか。

会長 町単位での会議や、集合住宅単位の会議も課題解決のために必要であると思います。しかし、第2層の地域ケア会議として、そのような小学校区より小さな単位まで含めるよりは第2層の地域ケア会議は小学校区単位以上で、それより小さな単位での会議は第3層とするとしてはいかがでしょうか。また抽出された地域課題の各会議への解決のための振り分けについても検討をお願いします。

事務局 頂いたご意見をもとに事務局としても検討させていただきます。

事務局 議事2報告事項(2)包括ゼミについて事務局から説明。

高辻委員 モデル包括での取組みを他の包括に共有していますか。

三矢委員 包括ゼミについて具体的な話をしますと、小学校区単位での第2層の地域ケア会議をどのように実施するかというのを実践し、その知見を他の包括にも共有するという仕組みになっています。

今年度のモデルとなっている竜美地域包括支援センターでは、三島小学校区と竜美丘小学校区を担当していますが、竜美丘小学校区での地域ケア会議ではごまんぞく体操の効果の紹介を実施したことにより、新たにごまんぞく体操を実施するグループが7つ立ち上がっています。また困ったときの連絡先のフローチャートについては、町それぞれの状況が異なるため共通のフォーマットを作成し、そのフォーマットをもとに町ごとに作成しました。どのサイズが2層の協議体として相応しいかについては小学校区を基本として、地域の実情に合わせていくほうがいいのでしょうか。

高辻委員 地域によって偏りがあるため、地域によっては参加が難しい地域もあります。包括単位での会議ということであれば担当薬剤師が割り当てられておりますので参加が可能です。

- 会長 各専門職それぞれの立場によって意見が異なるとは思いますが、大まかな方針としては2層の会議については包括単位での開催ができるものはそれを目指すというものしたいと思います。また事務局の方で検討をお願いします。
- 事務局 頂いたご意見をもとに事務局としても検討させていただきます。
- 事務局 議事3 協議事項憩っ家について事務局から説明。
- 会長 民間事業者にとって魅力的とありますが、広報的な意味での魅力なのでしょうか。また直接の収益をあげることを禁止するというのはどういうことなのでしょう。
- 事務局 はい、潜在的な顧客となる方々に宣伝をしたいという思いを持っている民間事業者の方も多くいますが、潜在的な顧客となる方々に直接、宣伝や広告を届けるといった手段を持っていないため、広報的な意味での魅力があるということです。
また直接の収益をあげることを禁止するという意味は、憩っ家で講演料を徴収し利益を上げることなどを禁止するという意味です。現在のところ、憩っ家を行うことによって将来的に顧客が増え、それによって利益が上がることについては禁止しない予定です。
- 会長 ありがとうございます。民間事業者にわかりやすくするために例示するなどの工夫が必要かもしれません。他に質問はありますか？
- 山口委員 地域では今ごまんぞく体操の推進もしており、憩っ家の活動と重複するような部分もあるように感じていますが、どうでしょうか。
- 会長 既存のごまんぞく体操の実施箇所であっても、条件に適合すれば憩っ家として認めるし、限定的な人しか参加できないような場所は憩っ家としないという理解でしょうか。
- 事務局 はい。条件についても検討しておりますが、実際に行ってみないとどのような条件を設定した方がいいかも見通しがつきづらいという側面がありまして、今年度末からモデル的に実施を行っていかうと考えております。
- 鈴木委員 地域包括支援センターはどのように関与するのですか。
- 事務局 地域包括支援センターの業務として憩っ家の運営をするというのは、難しいと考えていますが、地域包括支援センターには生活支援コーディネーターが

配置されておりますので、生活支援コーディネーターとして憩っ家のマッチング及びコーディネートを実施していただきます。

三矢委員 現状地域に接している身としては、活動を再編統合する動きがある地域もあり、あまり活動を細分化し過ぎる仕組みではない方がいいのではないのでしょうか。また町内の人しか参加できないごまんぞく体操を実施したいと考えている場合に、その会場の利用を憩っ家として認めないというのは少し厳しい気もするので、何らかの緩和策を用意していただけると良いと思います。

事務局 市としてもごまんぞく体操の実施拠点を増やしていきたいと考えています。その一方で協力をしていただける事業者のメリットというのもありまして、協力していただける事業者、参加者、行政のバランスを取りながら考えていこうと思っております。

会長 事業者に対して、地域貢献や宣伝というメリットをうまく使って活性化して欲しいと思っております。また総合事業の短期集中後に繋げていく場所としても重要ですので、今日いくつか見えた課題に対して取組んでいていただきたいと考えております。
今日の議題はこれにて終了させていただきます。